

J Rの業務外注化を止めるためのニュースです。感想や意見、現場の情報などをお寄せ下さい。(メール) dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

動労千葉幕張支部青年部のアピール

動労千葉に入って闘おう

6月7日付け「日刊・動労千葉」の〈座談会・外注化と闘う青年部〉を紹介します。

外注化は団結を破壊する

内山 10・1外注化強行後、CTSに行かされた若い人は前よりこそこしてる。出世というか、CTSの中でよく思われて自分だけでもJRに戻りたいみたいな雰囲気がある。

渡辺 口では外注化反対っていても会社の言うことばかり聞いとると、自分だけ戻ろうとしていくのかとも思う。そういうやりとりは遠くから見てもわかる。

内山 明らかに会社側がおかしい時に何も言わないっていうのは、自分で自分の首を絞めているようなものなの。

木科 現場がステップアップの場にされてるんじゃないか。支社とか指令、あわよくば本社に行くための。幕張が外注化されたとして

も、自分が上にいければいいみたいな。個人の出世とか金とかいう方向にむかされる。

渡辺 今のJRに残っている若手からも、CTSにいった人もいけど自分たちは残っているからいいやというのを感じる。

木科 CTSのプロパーの人は本当はJR採用で構内運転士になるべき人。それが賃金も抑制されている。それでも自分がよければみたいになっている。プロパーが入ってきて自分が戻れるなら何も問題ないってね。

渡辺 それじゃ外注化自体はそのまま。そこの闘いを俺らはやっていると思う。

内山 JRに残ってハンドル持っている人で、CTSに希望出している人がいる。会社のためって。会社が良く見てくれると思うのか

皆の為に闘うのが組合

もしないけど、実際はいいなりになれば上手くいくってことはない。そういうのは、この間の会社の動きを見れば分かると思う。

渡辺 昇進でも結局競争させられている。全員が所長や副所長、助役になったら現場の人がいなくなっちゃう。俺は、この会社で定年まで勤められればいい。給料は確かに上がってほしい。でも、それは昇進であるより、全員が均等に上がってくればと思うている。

内山 俺は別に昇進したいと思わない。お金はほしいけど。現場での実力ある人が昇進しないで、実力ない人が上にいって。試験とかじゃなくて、現場が認める人が上にいってもいいんじゃないか。あの人は凄いて、現場からもっと声をだしていくとか。

木科 昇進試験もちゃんと受けて、組合差別があるならそれと闘って、動労千葉も受かるってのを見せたほうがいいんじゃないか。

内山 半々だと思う。外注化賛成っていつてる人もいる。会社のためにはこうしたほうがいいんだって。

木科 会社側の立場にたって考えちゃうからだよ。あんたが経営者なら分かるけど、そうじゃないだろう。

内山 働いている人の為に考えてほしい。自分たちの子どもだって入るかもしれない。ここで潰れないともっと厳しくなる。正社員なんていなくなっちゃう。仕事だって、発注書とか作業指示書とかないと出来なくて、でロスが大きい。

外注化を撤回させよう

木科 若い人が一番不安があるのは、動労千葉だと昇進できないんじゃないかってこと。動労千葉のいうことは良く分かるって奴はいるし、組合費もそう変わらない。やっぱり一番のネックはそこじゃないか。現状で昇進制度があっても、俺たちは組織拡大をしなきゃいけない。その壁になっているのは、昇進の問題だと思う。

内山 やっぱ、外注化自体をやめさせないと。いずれはJRに戻れなくて、転籍にされていくかもしれない。JRに戻っても、外注化されたままじゃ俺たちの仕事がない。

木科 たぶん俺たちの言ってることをみんな理解はしてる。ただ会社に逆らうこと自体がNGだと思ってる。

内山 やっぱ勉強会したほうがいい。なんで外注化に反対するのかとか、なんでこんなことになるのかとか。若い人の意識を変えたい。動労千葉の組織拡大して、外注化を撤回させるためにも。

木科 動労千葉が他と違うのは仲間が絶対を守るってこと。誰かがミスって首といわれた時、他労組じゃおかしいって言うとか会社にいらまれるから言えない。ミスした奴が悪いってなっちゃう。動労千葉は仲間を守って闘う。東労組でダメだと思ったら、いつでも動労千葉に来て下さい。



写真上から内山祐樹さん、渡辺剛史さん、木科雄作さん